

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成27年1月9日
【四半期会計期間】	第49期第1四半期（自平成26年9月1日至平成26年11月30日）
【会社名】	旭化学工業株式会社
【英訳名】	ASAHI KAGAKU KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉浦 武
【本店の所在の場所】	愛知県碧南市港南町二丁目8番地14 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	愛知県安城市城ヶ入町広見133番地3
【電話番号】	（0566）92-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 奥村 哲男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第48期 第1四半期連結 累計期間	第49期 第1四半期連結 累計期間	第48期
会計期間	自平成25年9月1日 至平成25年11月30日	自平成26年9月1日 至平成26年11月30日	自平成25年9月1日 至平成26年8月31日
売上高 (千円)	1,748,748	1,912,764	6,812,643
経常利益 (千円)	32,931	26,758	40,631
四半期純利益又は当期純損失 () (千円)	20,232	5,838	739,869
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,088	217,587	681,565
純資産額 (千円)	5,374,451	4,892,668	4,686,027
総資産額 (千円)	6,430,513	6,210,366	5,838,693
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額 () (円)	5.54	1.60	202.76
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	83.58	78.78	80.26

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策により景気回復への期待感が高まったものの、平成26年4月からの消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより個人消費回復は鈍く、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境は、電動工具業界におきましては販売は順調に推移しましたが、海外生産比率増加により国内生産は減少しました。自動車業界におきましては北米や欧州等が順調に推移したものの、国内は減収減産となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高19億12百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益7百万円（同70.3%減）、経常利益26百万円（同18.7%減）、四半期純利益5百万円（同71.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

国内は、自動車部品は新規受注の増加により売上が増加したものの、電動工具部品の受注の減少を補うことができず、売上高は8億17百万円（前年同四半期比2.2%減）となり、賞与引当金の増加により営業損失が3百万円（前年同四半期は営業利益4百万円）となりました。

中国

中国は、為替が円安になった影響により売上高は10億80百万円（同17.9%増）となりましたが、人員の増加と最低賃金引き上げに伴う人件費の上昇及び配送方法の変更に伴う荷造運搬費や包装費の上昇により、営業利益は12百万円（同55.5%減）となりました。

タイ

タイは、自動車部品の新規得意先の開拓及び既存の電動工具部品の受注が増加し、売上高は43百万円（同209.4%増）となりましたが、営業損失は19百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）となりました。

（2）財政状態の分析

資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億71百万円増加し62億10百万円（前連結会計年度末比6.4%増）となりました。これは主に現金及び預金が2億44百万円及び有形固定資産が72百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1億65百万円増加し13億17百万円（前連結会計年度末比14.3%増）となりました。これは主に買掛金が70百万円、賞与引当金が34百万円及びその他流動負債が30百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産の合計は前連結会計年度末と比べ2億6百万円増加し48億92百万円（前連結会計年度末比4.4%増）となりました。これは主に為替換算調整勘定が2億14百万円増加したことによるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は1百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,720,000
計	12,720,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年1月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,896,000	3,896,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,896,000	3,896,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年9月1日～ 平成26年11月30日	-	3,896,000	-	671,787	-	717,689

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 246,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,647,800	36,478	-
単元未満株式	普通株式 1,300	-	-
発行済株式総数	3,896,000	-	-
総株主の議決権	-	36,478	-

【自己株式等】

平成26年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
旭化学工業(株)	愛知県碧南市港南町二丁目8番地14	246,900	-	246,900	6.34
計	-	246,900	-	246,900	6.34

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,080,755	2,325,576
受取手形及び売掛金	822,662	838,128
商品及び製品	203,283	193,978
仕掛品	99,505	97,996
原材料及び貯蔵品	141,391	175,483
繰延税金資産	8,500	20,764
その他	136,886	146,101
貸倒引当金	1,660	2,050
流動資産合計	3,491,325	3,795,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	700,714	706,403
機械装置及び運搬具(純額)	488,874	540,536
土地	949,026	961,830
その他(純額)	25,457	27,862
有形固定資産合計	2,164,072	2,236,633
無形固定資産	10,931	11,945
投資その他の資産		
投資有価証券	143,240	136,517
その他	37,752	37,920
貸倒引当金	8,630	8,630
投資その他の資産合計	172,363	165,807
固定資産合計	2,347,368	2,414,386
資産合計	5,838,693	6,210,366
負債の部		
流動負債		
買掛金	743,996	814,026
未払法人税等	7,246	25,377
賞与引当金	12,524	46,877
役員賞与引当金	5,698	7,048
その他	178,195	209,100
流動負債合計	947,662	1,102,431
固定負債		
繰延税金負債	160,825	170,421
役員退職慰労引当金	42,256	43,012
その他	1,922	1,832
固定負債合計	205,004	215,266
負債合計	1,152,666	1,317,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	2,927,048	2,921,939
自己株式	132,927	132,927
株主資本合計	4,195,847	4,190,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,243	56,669
為替換算調整勘定	430,936	645,260
その他の包括利益累計額合計	490,180	701,929
純資産合計	4,686,027	4,892,668
負債純資産合計	5,838,693	6,210,366

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上高	1,748,748	1,912,764
売上原価	1,592,351	1,759,011
売上総利益	156,397	153,752
販売費及び一般管理費	132,609	146,692
営業利益	23,787	7,060
営業外収益		
受取利息	7,084	9,320
受取配当金	36	414
為替差益	487	6,835
その他	1,593	3,176
営業外収益合計	9,201	19,746
営業外費用		
支払利息	57	48
営業外費用合計	57	48
経常利益	32,931	26,758
特別利益		
固定資産売却益	49	110
投資有価証券売却益	6,824	8,051
特別利益合計	6,874	8,162
特別損失		
固定資産売却損	205	233
固定資産除却損	-	1,795
特別損失合計	205	2,029
税金等調整前四半期純利益	39,600	32,891
法人税、住民税及び事業税	29,911	28,426
法人税等調整額	10,543	1,373
法人税等合計	19,368	27,052
少数株主損益調整前四半期純利益	20,232	5,838
四半期純利益	20,232	5,838

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,232	5,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,914	2,574
為替換算調整勘定	18,406	214,323
その他の包括利益合計	24,320	211,749
四半期包括利益	4,088	217,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,088	217,587
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)
減価償却費	57,395千円	47,188千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月26日 定時株主総会	普通株式	14,596	4.00	平成25年8月31日	平成25年11月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月27日 定時株主総会	普通株式	10,947	3.00	平成26年8月31日	平成26年11月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日 本	中 国	タ イ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	836,258	900,052	12,438	1,748,748	-	1,748,748
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	16,894	1,463	18,357	18,357	-
計	836,258	916,946	13,901	1,767,106	18,357	1,748,748
セグメント利益又は損失()	4,985	27,546	27,971	4,559	19,227	23,787

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日 本	中 国	タ イ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	817,906	1,054,469	40,387	1,912,764	-	1,912,764
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	26,401	2,629	29,030	29,030	-
計	817,906	1,080,870	43,017	1,941,795	29,030	1,912,764
セグメント利益又は損失()	3,352	12,267	19,236	10,321	17,381	7,060

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5円54銭	1円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	20,232	5,838
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	20,232	5,838
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,649	3,649

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 1月 8日

旭化学工業株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐野 正人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 昌也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭化学工業株式会社の平成26年9月1日から平成27年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭化学工業株式会社及び連結子会社の平成26年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。